

6月定例会市議会
一般質問

市政のここが聞きたい

6月定例会市議会では、6月10日、13日、14日の3日間にわたり、26人の議員が一般質問を行いました。その質問の中から1人2質問まで要約して掲載しました。

なお、詳しい内容をお知りになりたい方は市立図書館などで6月定例会市議会会議録（9月上旬発行予定）をごらんになるかインターネットで検索してください。



事業決定された清音駅東地区広場周辺

塩見 禎章

新市財政について

問 新総社市の財政状況は借入金約595億5500万円で市民1人当たり89万4000円の借金である。今回の選挙で公約された24時間体制の救急医療拠点施設、合併特例債を活用しての新総社大橋、法定協議会で約束された各諸施

設整備事業はどのような優先順位で実施されるのか。また、財政健全化対策をどのように対応されるのか。

答 既に交付金事業で決定している新総社大橋、清音駅東地区整備事業は優先的に取り組んでいく。市民から要望のある各種施設整備事業等は国、県の補助制度などの財源を活用し、最小の経費で最大の効果があがるように取り組んでいく。財政健全化は、限られ

た歳入の範囲で歳出を組むなど予算編成の基本に立ち返り、円滑な財政運営を継続していく。

選挙公約について

問 合併前の旧行政では各地域ごとに特色ある取り組み、活動を行い地域のコミュニケーション場として村づくりを推進してきた。合併の地域づくり、自治活動の組織づくりはどのように取り組む考えか。

子育ての相談、支援体制を充実し子どもを産みやすく育てやすい環境づくりが必要と考えるが、具体的にどのような取り組みをされるか。

答 地域づくり、自治組織の充実には先駆的な清音の自治組織を手本として市内全域に波及するよう努力していく。地域で自主的に行なわれる活性化事業に対しても自立した自治組織が根付くよう支援していく。子育て関係は、待機児童の解消に力を入れて取り組み、現場の声も聞き地域に合った体制がとれるよう可

根馬 和子

市民主役のまちづくりについて

問 市長はまちづくり構想として「市民が主役のまちづくり」を提唱されているが、相当な改革の決意があったものと推察する。地方分権から地域分権へと変容しつつある今、市民が主役のまちづくりに向かうなら、さまざまな方策やシステムが必要と考えるがどうか。また、市民主役のまちづくりに拠点施設を有効活用してはどうか。

答 市民が主役のまちづくりは、市民と行政とがよきパートナーシップを発揮し、市民と行政が協働してまちづくりを推進し対話を中心に市政を進めていく必要がある。今後、まちづくり協議会、住民自治活動組織などを確立し地域の声が聞けるようなシステムを検討していきたい。施設の有効活用は、使用している状況を尊重しできるだけ不